

みんなが暮らしやすい工夫を探そう！

- 教師用ガイドブック -

●はじめに

- ・ この単元は地域にある施設や道路、身近な商品に、みんなが暮らしやすくするための工夫をしているところが、たくさんあることを調べていくを通して、「みんなが暮らしやすい社会にする」ためにはどうしたらいいかを改めて見つめ直し考えていくことをねらいにしています。
- ・ ここでは、子どもたちが「バリアフリー」についてあまり意識していなかった段階から、調べることを通して自然に理解を深め、さらに、不十分な点について子どもたち自身が気づいていくという流れを大切に学習のステップを組み立ててみました。しかし、逆に「バリアフリー」について不十分なところを確かめるために地域に出ていくというような学習のステップで組み立てることも考えられます。

●各ステップにおける留意点

Step 1 「バリアフリー」ってなんだろう

- ・ 学校図書館、地域の図書館、ホームページなどで情報を集める時には、資料やコンピュータの台数によって、個人、グループ、一斉のどの授業形態でも可能です。
- ・ 「バリアフリー」について調べるときに、時間や車いすなどの準備ができれば、車いすやアイマスクの体験を取り入れて実施することも可能です。
- ・ ここでは具体的に「どんなものがあるか？」について各グループで調べ、ワークシートに記入していくという課題設定で取り組んでいきます。深く調べていくのは、子どもたちが疑問を持ったことについてステップ2の時に実施します。

Step 2 身近にある「バリアフリー」をみつけよう

- ・ 学級や地域の実態に応じて、グループの数や構成を考えて子どもたちの学習の支援をしてください。
- ・ ここでは「バリアフリー」について「どこにあるのか」や「どんなものなのか」について実物を調べていく活動です。道路にあるものを調べていくのであれば、地域ごとに分担していくことが考えられます。施設の中にあるものを調べていくのであれば、駅や公共施設（福祉センター、市役所、地域の体育館、公民館、図書館）スーパーマーケット、レストランなどに分かれて調べていくことが考えられます。商品を調べていくのであれば、マークや役割、開発についての思いや経過、実際の商品を使った感想などについても調べていくことが考えられます。

- ・ 道路であれば、地図上に画像と説明を配置してまとめていくことが考えられます。また、施設や商品であれば、画像と説明をカードにしてデータベースのようにまとめていくことが考えられます。
- ・ デジタルカメラを使った撮影では、周りの様子も含めて何カットかを組み合わせて使うことを考えて撮影するなど、説明するときに聞いている人がわかりやすいということを考える工夫が必要です。また、調べている過程で「点字ブロック」の上に放置自転車があるという場面に遭遇するかもしれません。そのような場面は、「バリアフリー」を考える上で、現実味をもった話題提供となります。
- ・ ここでは、調べて得た情報を再構成することによって、相手を意識してわかりやすく伝えることが大切です。また、作業を通して「バリアフリー」についてさらに深く、そして、身近なものとして捉え直していくことが、子どもたちの自然な発想の流れで感じ取れるような活動にしていきます。
- ・ 各グループの作業の進行状況がわかるように、掲示スペースを設けることで、各グループが別々に作業するだけでなく、グループ間の意見交換を促すようにしていくことも考えられます。

Step 3 「バリアフリー」について調べたことを発表しよう

- ・ これまでの学習を通して、「バリアフリー」について感じたことや考えたこと、さらに「心のバリアフリー」つまり、「本当のバリアフリーは、まず人々の心の中から始まる」ということについて考えていきます。
- ・ 「バリアフリー」については、施設設備を充実させていくことが、障害者のための特別なものを作っているという意識から、みんなが暮らしやすくするために当然のものを作っていくという意識に変わっていくこと、さらに、みんなが本当に暮らしやすくしていくためには施設設備の充実だけでは十分ではなく、人の意識や助け合いによって補っていくものであると捉えていくことを大切に話し合い活動を取り組んでください。
- ・ 話し合いを学級や地域の実態に応じて、今後、子どもたちの実際の活動（ボランティアなど）につながっていくようにすることも考えられます。

● 関連するホームページ情報

- ・ バリアフリータウン <http://village.infoweb.ne.jp/~fwhk4954/>
- ・ 共用品推進機構ホームページ <http://kyoyohin.org/>
- ・ 日本玩具協会「小さな凸」実行委員会 <http://www.toynes.or.jp/totsu.htm>
- ・ (株)トミー 小さな凸のコーナー <http://www.tomy.co.jp/totsu/>
- ・ バリアフリー協会 <http://www.bfa.gr.jp/index.html>
- ・ こころWeb <http://www.jeida.or.jp/document/kokoroweb/>
- ・ バリアフリー・ホームページ <http://www.cgh.ed.jp/bfree/index.html>
- ・ ライオン視覚障害者製品情報 <http://www.lion.co.jp/new/sectop/index03.htm>
- ・ 福祉のまちづくり
<http://www.pref.hokkaido.jp/hfukusi/hf-thksi/chihuku/chindex.htm>
- ・ ちいちゃんとたっくん - みんなが幸せにくらせるまちに -
<http://www.pref.hokkaido.jp/hfukusi/hf-thksi/chihuku/chitaku-h.html>

● 参考になる児童用図書

- ・ 『総合的な学習 3・4年生 まちの探検隊 5 まちのバリアフリー—福祉』2000.4
住む人みんなにやさしいまちって、どんなまち？まちを歩いて考えてみよう。バリアフリーとはどんなことなのか？まちのバリアを調べたり、不自由さを体験したり、バリアフリーを見つけたりする活動の具体的な様子が示されています。
発行：ポプラ社 監修：小林宏己
- ・ 『からだが不自由ってどんなこと？ 2 バリアフリーの町に！』1998.2
バリアフリーについて道路や公共施設、乗り物、道具などを実物の写真でわかりやすく紹介しています。また、外国の様子についての紹介や「町のバリアフリーチェック表」も例示しています。
発行：学習研究社 監修：伊藤隆二
- ・ 『バリアフリー いっしょに生きていくために』2000.4
主人公は3人の子供達と先生。この3人がいろいろな課題を持って社会の壁＝バリアを取り除こうと取組み、その課題に先生がアドバイスしたり、共感したりする。「これならばく（わたし）にでもできそうだ！」と即実践できそうな内容です。
1巻 バリアフリーを考えよう
2巻 住みやすい家ってなんだろう
3巻 ぐらしやすい町ってなんだろう
4巻 たのしい学校ってなんだろう
5巻 とともにゆたかに生きるために
発行：ポプラ社 監修：(財)共用品推進機構

・『「バリアフリー」ってなんだろう?』2000.4

障害のある人たちの不便さを知ることから一歩前に進めて、不便さが決して他人事ではないことを伝えたり、誰にでもできるバリアフリーのあり方について述べられています。

1巻 バリアフリーの社会に！

2巻 道路や交通機関をバリアフリーに！

3巻 建物をバリアフリーに！

4巻 日用品をバリアフリーに！

5巻 心のバリアをとりのぞこう！

6巻 みんなでつくるバリアフリー！

発行：学習研究社 監修：(財)共用品推進機構

・『ドラえもん的車いすの本』1999.11

車いすでの生活が不便さを知って、いっしょに考える内容です。みんながいっしょに生活するには？みんなでいっしょに楽しむには？この本に登場する北斗くんや南まりちゃんがヒントをくれます。

発行者：田部井満男 発売：小学館